



持続可能な同窓会

～第3回ワークショップ（オンライン）～

2020年11月14日



「持続可能な同窓会」の実現に向けてのワークショップ°

ワークショップの目的

- アンケート（3回）と昨年9月のワークショップの結果をもとに、役員会では持続可能な同窓会のイメージを具体化してきました。
- 今日の目的は10月10日のワークショップの第2弾として、役員会が具体化したイメージが適切なものか皆さんに議論してもらうことにあります。
- 修正されたイメージはこの後会員へのアンケートなどを通して「持続可能な同窓会」のあるべき姿となることを目指します。

「持続可能な同窓会」の実現に向けてのワークショップ°

スケジュール

- | | |
|-----------------|--|
| 14 : 00～14 : 15 | オープニング・前回のアンケートについて |
| 14 : 15～15 : 00 | 「新しい同窓会の会員管理」
イメージの説明（10分） グループ別議論（20分） 発表・議論（15分） |
| 15 : 00～15 : 35 | 「新しい同窓会の事務局（事務局の体制維持含む）」
イメージの説明（10分） グループ別議論（15分） 発表・議論（10分） |
| 15 : 35～15 : 45 | クロージング |
| 15 : 45～16 : 00 | 予備の時間 |

「持続可能な同窓会」の実現に向けてのワークショップ°

グループ別議論について

- 今日のテーマは「新しい同窓会の会員管理」と「新しい同窓会の事務局（事務局の体制維持含む）」です。
- Zoomのブレイクアウトセッションという機能を使って、グループに分かれて話し合ってもらいます。時間が来ると強制的に終了しますので時間に注意してください。
- 話し合いのテーマを提示しますが、あくまでも参考です。自由に話し合ってください。
- 意見をまとめる必要はありません。こういう意見が多かったがこういう反対意見もあった、という感じでかまいません。
 - ✓ メモを[Padlet](#)に入力し、チームごとに発表をお願いします。
 - ✓ メンバーの名前も入れてください。



前回アンケート資料

～持続可能な同窓会～

JISD同窓会の現状・問題と新しい同窓会の構築に向けて

～現状を踏まえた新しい同窓会の方向性を検討～

同窓会の現状と問題

- ✓ 同窓会活動への消極的な参加
 - ・若い代の会員数激減（35～54期：全体の3%）など
- ✓ 役員・学年幹事の慢性的な欠員
 - ・欠員埋合せの作業に多大の時間と労力を費やしている
- ✓ 同窓会員数の拡大（現在1万人弱）
- ✓ 上記欠員による役員への作業負担増
 - ・既存役員へ運営・管理作業が皺寄せ（特に総会・懇親会）
 - ・エクセルなどでのマニュアルベースの非効率な作業
- ✓ 伊藤先生の事務局引退
 - ・伊藤先生担当の事務局作業の分散化と効率的な管理・運営
- ✓ 会員情報の開示厳禁
 - ・個人情報保護法やGDPRによる個人情報の取扱い厳格化

新しい同窓会の構築に向けて

- ✓ 2019/9/28 第1回ワークショップ実施
- ✓ 左記状況をワークショップ参加者に報告
- ✓ 3つのテーマにつき参加者から意見を収集
 - ・会員システムの導入
 - ・総会・懇親会について
 - ・同窓会の組織・意思決定について
- ✓ 新しい同窓会の方向性の明確化



↓
役員の考える新しい同窓会のイメージを具体化し、同窓生に意見を求める

役員の考える新しい同窓会のイメージ

新しい同窓会の方向性

- 多くの会員の参加を前提とした現行の運営体制を簡素化し、会員の求める同窓会活動の運営に絞った体制に移行する。
- 費用対効果を検討した上で外部サービスを活用し、同窓会運営者の負担を軽減する。
- 総会、役員会、幹事会といった多層の意思決定プロセスをやめ、会員システムを活用し会員の意思を反映させる。

役員の考える新しい同窓会のイメージ

新しい同窓会の主な活動内容

- 同窓会の基本的な活動を5つに絞り込む。
 - ✓ 懇親会の運営の企画
 - ✓ 会員間コミュニケーションのサポート
 - ✓ 同窓会費の管理
 - ✓ 会員情報（同窓生・職員・賛助会員）の管理
 - ✓ 会員有志によるその他活動のサポート

役員の考える新しい同窓会のイメージ

新しい同窓会の運営体制

- 新事務局の設置
 - ✓ 3～4名にて編成
 - ✓ 懇親会企画、同窓会費・会員システム・ホームページの管理など
 - ✓ 任期は原則5年。有志による運営
- アドバイザリーボードの設置
 - ✓ 新事務局の活動のチェックとアドバイス
 - ✓ 元同窓会役員、恩師などの3～4名で構成
- 年度幹事について
 - ✓ 年度幹事は廃止し、世話役（連絡係）に変更。ただし選出は任意

役員の考える新しい同窓会のイメージ

新しい同窓会の懇親会

- 同窓会会員が一堂に会する懇親会を5年に1度開催する。
- 総会は廃止。意思決定、報告は会員システム上に移行。
- 懇親会は運営は積極的に外部サービスを利用し、受付など同窓生のすべき作業に限定したうえで、有志が担当する。

役員の考える新しい同窓会のイメージ

新しい同窓会の会員管理

- 会員システムを導入し、事務局はその管理を行う。
- 会員システムへの登録、メールアドレスなどの会員情報の修正は会員自らがを行い、事務局はそのサポートを行う。
- 登録した会員同士でのコミュニケーション、同期会の案内等は会員システム上で行う。(ただし個人情報の保護を配慮する。)

役員の考える新しい同窓会のイメージ

新しい同窓会の意思決定

- 事務局、アドバイザリーボードは意思決定は行わない。意思決定は会員システムのアンケート機能を用いる。
- 事務局とアドバイザリーボードのメンバーは年に1度集まり、事務局の活動のチェックを行う。また同窓会の運営に関して事務局が困ったときは随時アドバイザリーボードのアドバイスを受ける。
- 同期のまとめ役の人に世話役をお願いする。事務局から連絡の窓口のほか、同期の会員システムへの登録や懇親会への参加の声掛けなどに協力をお願いする。世話役のいない期は会員システムから連絡をする。

役員の考える新しい同窓会のイメージ

新しい同窓会の会計

- 同窓会の収支は常に会員システム上で公開する。
- 事務局とアドバイザリーボードのメンバーは年に1度集まり、会計監査を行う。監査結果は会計報告として会員システムで公開する。
- 収入、支出に関する意見は、アドバイザリーボードだけでなく、広く会員から会員システムを介して募る。
- 同窓会参加者には引き続き同窓会費の納入をお願いする。
- 同窓会システムの導入費は現在約400万円ある同窓会費から捻出する。年間数十万円のランニングコストは、懇親会の際に参加者から寄付を募る。より多くの会員の参加を促すため、使用料としては徴収しない。



新しい同窓会の会員管理

～持続可能な同窓会～

役員の考える新しい同窓会のイメージ

新しい同窓会の会員管理

- 会員システムを導入し、事務局はその管理を行う。
- 会員システムへの登録、メールアドレスなどの会員情報の修正は会員自らがを行い、事務局はそのサポートを行う。
- 登録した会員同士でのコミュニケーション、同期会の案内等は会員システム上で行う。(ただし個人情報の保護を配慮する。)

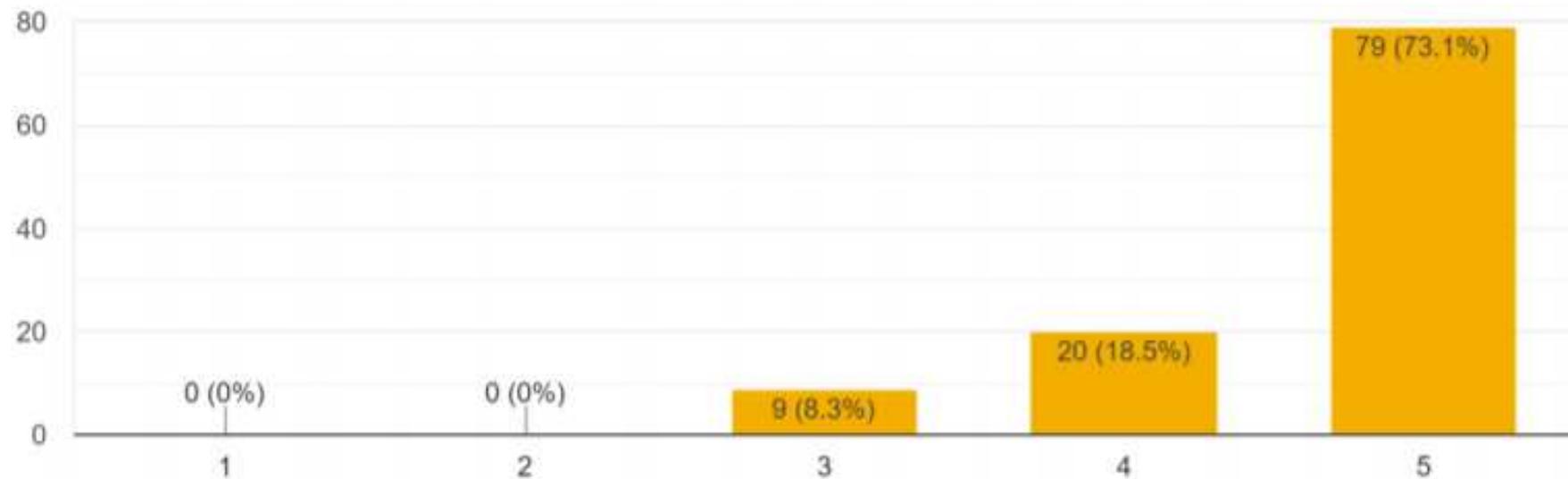
アンケートの結果

新しい同窓会の会員管理

Q4. 「新しい同窓会の会員管理（資料P7）」に賛成ですか、反対ですか？

108件の回答

(1 : 反対 ~ 5 : 賛成)



アンケートの結果：コメント

新しい同窓会の会員管理

- 4 個人的には賛成です。が、昨今個人情報保護法が云々言う方もいらっしゃるかと思いますので、その対策をするなら、対策をしますとちゃんとうちだしたほうが良いかと思えます。
- 4 システムはよいが、Google等の無料のものを利用
- 5 掲示板で、地域レベル、また全国レベルでの同期会開催情報が分かると便利と思えます。
- 4 趣旨は賛成です。ただ修正を個人に委ねた場合に、連絡が取れなくなる人が多くなると思われるので、同窓会開催時の案内を出すタイミングで、世話役の人に会員情報の更新に協力をお願いするしかないと思えます。
- 5 ランニングコストに寄付を募るというのは

新しい同窓会のイメージの具体化

新しい同窓会の会員管理

- 情報の登録、更新は会員自ら行う。
 - 同窓会開催時の大量の情報更新が不要になる。
 - 会員システムに登録することで、会員自身が情報の更新を意識する。（自身で情報を更新しないと会員システムに登録している意味がない。）
- 会員同士のコミュニケーションが活性化する。
 - メールアドレスを知らなくても、同期、恩師などにメッセージを送ることができる。
 - 同期会の案内など特定のグループに一斉配信ができる。
 - アンケートや投票など、会員の意見の収集が容易になる。
- セキュリティの配慮は必要だが自律的に機能するコミュニティを目指す。
 - メッセージのブロック機能は必要？

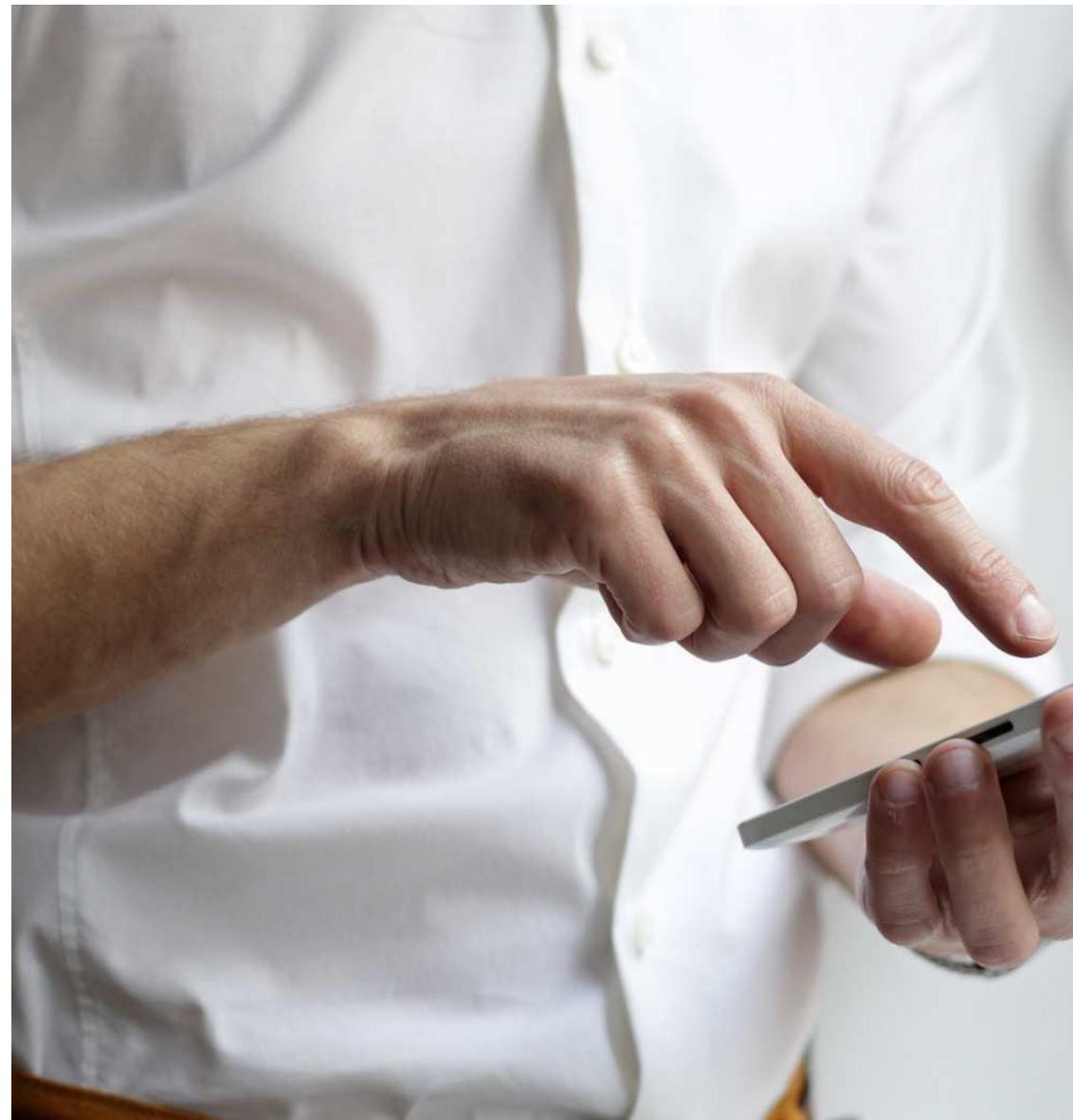
新しい同窓会の会員管理のさらなる具体化

話し合いのテーマ（あくまでも参考）

- 年間数十万円（初期費用数十万円）のコストは妥当か？
 - どれぐらいの人が参加しそうか？参加者をどう増やすか？
 - 費用をどう回収するか？（会費は無料。現在の同窓会費約300万円）
 - 無料なシステム（MiiT+など）もある。セキュリティは？機能は？
- 会員システムに求められる機能は何か？
 - 既存のSNSなどを活用し、会員システムをシンプルにできないか？
 - 会員システムで発生しうるトラブルは何か？

新しい同窓会の事務局 (事務局の体制維持含む)

～持続可能な同窓会～



役員の考える新しい同窓会のイメージ

新しい同窓会の主な活動内容

- 同窓会の基本的な活動を5つに絞り込む。
 - ✓ 懇親会の運営の企画
 - ✓ 会員間コミュニケーションのサポート
 - ✓ 同窓会費の管理
 - ✓ 会員情報（同窓生・職員・賛助会員）の管理
 - ✓ 会員有志によるその他活動のサポート

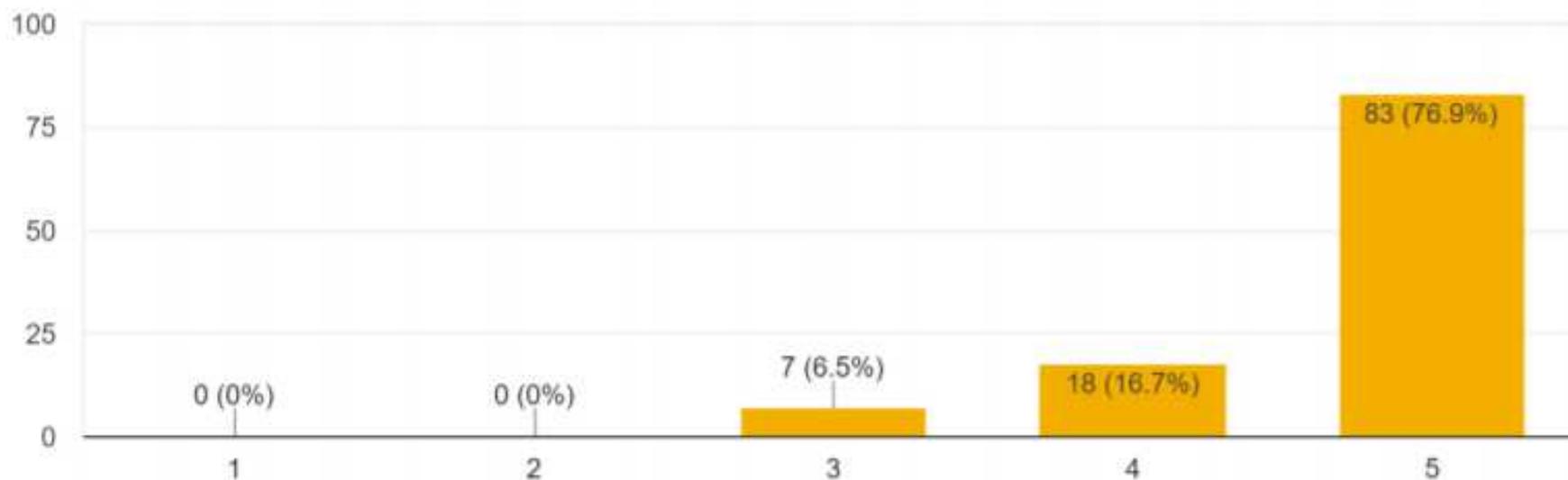
アンケートの結果

新しい同窓会の主な活動内容

Q1.同窓会の活動を「新しい同窓会の主な活動内容（資料 P4）」にある 5 つに絞り込むことに賛成ですか、反対ですか？

108 件の回答

(1 : 反対 ~ 5 : 賛成)



アンケートの結果：コメント

新しい同窓会の主な活動内容

- 5 特定の方々に負担かかかる運営は長続きしないと思いますのでなるべく業務は簡便化するのが望ましいと考えます。
- 5 特に無し
- 4 他に方法がなさそうなので問題ないと思われるが、現在の活動詳細が分からないので、P.4の5つ以外に運営側で何をしているのかの新旧比較表があると分かりやすかった
- 5 選択と集中でとても良いと思う。
- 3 反対ではありませんが、同窓会の活動は何のために、という目的がまず謳われるべきだと思います。それがあって同窓会の活動を5つに絞り込む意味がわかってきます。今の資料ですとそれがわかりません。

役員の考える新しい同窓会のイメージ

新しい同窓会の運営体制

- 新事務局の設置
 - ✓ 3～4名にて編成
 - ✓ 懇親会企画、同窓会費・会員システム・ホームページの管理など
 - ✓ 任期は原則5年。有志による運営
- アドバイザリーボードの設置
 - ✓ 新事務局の活動のチェックとアドバイス
 - ✓ 元同窓会役員、恩師などの3～4名で構成
- 年度幹事について
 - ✓ 年度幹事は廃止し、世話役（連絡係）に変更。ただし選出は任意

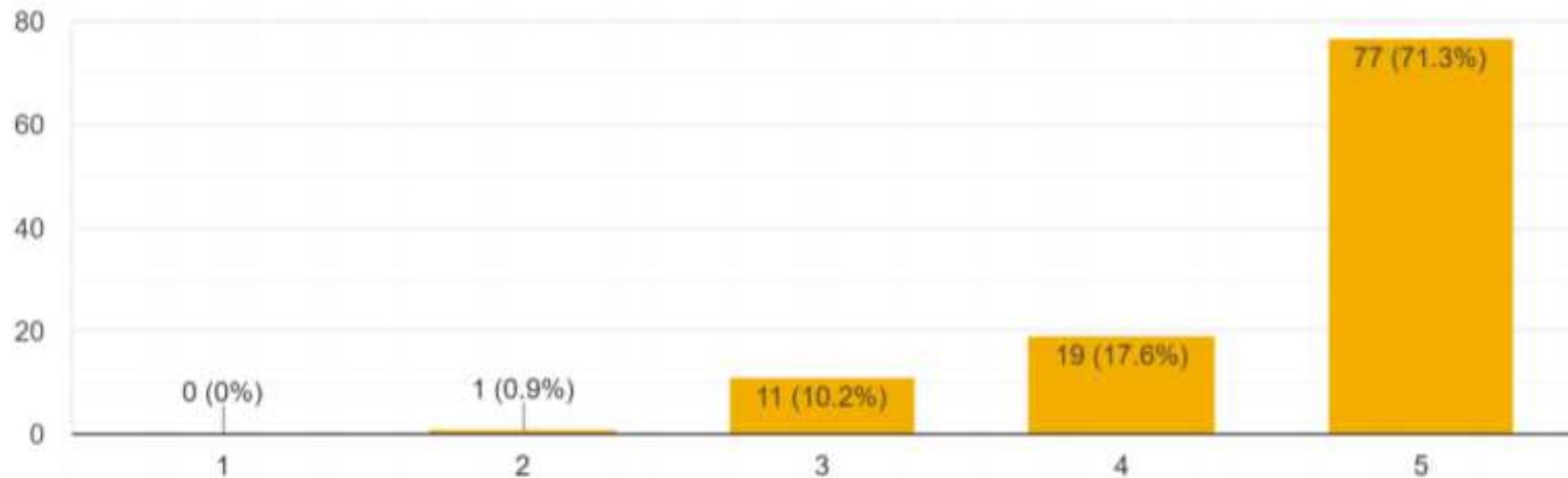
アンケートの結果

新しい同窓会の運営体制

Q2. 「新しい同窓会の運営体制（資料P5）」に賛成ですか、反対ですか？

108件の回答

(1 : 反対 ~ 5 : 賛成)



アンケートの結果：コメント

新しい同窓会の運営体制

- 2 5年は長い。4年にして、以後半数ずつ入れかえる。一斉に解散はしない方がいい。
- 3 基本的に賛成だが、有志や任意だと**固定メンバーになりそう**
- 5 意思決定を行わない。が本当にいいのかわからないが、何かを変える、という意味では大賛成。これで様子を見てまた判断すれば良いと思うので。
- 5 新事務局の任期5年な長いような気もしましたが、P6で「懇親会は5年に一回」を読んで納得しました。
- 5 事務局メンバーはできれば、**違う年代から選ぶことが望ましい**ですが、この同窓会の場合はそれが非常に難しいと思います。最初は有志にお願いして、あとは同窓会開催時に探すしかないでしょうか
- 5 賛成ですが、以下への対応が必要だと考えます
事務局、アドバイザリボードへの負担軽減：**任意だと、どうしてもなりて不足に**。最終的にアンケートで多数決を取るステップを踏んで、以下対応とすればどうか〈5年ごとの改選時の事務局年次を決めておき、夫々の学年で事務局担当を選ぶ〉
意思決定：システム上のアンケートとのことで、実効/機能性は検討頂いていると思いますが、事務局の負担軽減、実効/機能化の観点からの検証が必要だと考えます。
- 3 実態的に機能できるかどうか判断がつかかねたため、中立の「3」とした。
- 4 **3～4人で足りるのか気になる**ので

新しい同窓会のイメージの具体化

新しい同窓会の事務局（事務局の体制維持含む）

- 事務局の作業を限定・定型化して、4、5名で運営する。
 - 同窓会費の管理（入出金の記録など）
 - HP、会員システムの管理（HPの更新、会員システムの運用サポート）
 - 同窓会の企画
 - 同窓会の資産（資料など）の管理など
- 従来の任期制・持ち回り制ではなく、ボランティアで受けてくれる人をお願いする。
 - まずは現行の役員で対応。
 - 個人のネットワークや会員システムの公募で後任を探していく。
 - メール、Web会議を活用すれば、首都圏在住でなくてもあまり支障はない。
 - 同期の永久幹事のイメージ？

新しい同窓会の事務局のさらなる具体化

話し合いのテーマ（あくまでも参考）

- 事務局の担い手を維持できるか？
- 事務局メンバーが固まることの弊害はないか？



Thank You

デュッセルドルフ日本人学校同窓会・役員会
jisdyaquinkai@googlegroups.com